

科目名	コマース研究ゼミナール	科目コード	1209	単位数	2
担当者名	松原 英二	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	演習	到達目標	G,H	実務経験	無
ナンバリング	HSe401	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

この授業では自らテーマを設定してそれについての資料や情報の収集と分析を通して思考し導き出された結論を発表（プレゼンテーション）する能力を身につけることを目標としたい。近年わが国でも企業金融における直接金融化の流れが加速している。それに伴って証券市場のはたすべき役割についても多面的に論じられるようになってきている。ここでは伝統的証券といわれる株式や債券について広く学びながら投資家としての私たちとの関係について考えてみたい。

● 到達目標

- ・ 企業金融の意義について正しく理解することができる。
- ・ 証券市場と証券について正しく理解することができる。

● 授業内容

- 1週目 資本主義について
- 2週目 資本主義のしくみ
- 3週目 産業革命と近代化について
- 4週目 産業革命と近代化のしくみ
- 5週目 企業金融について
- 6週目 企業金融のしくみ
- 7週目 株式について
- 8週目 株式のしくみ
- 9週目 債券について
- 10週目 債券のしくみ
- 11週目 証券市場について
- 12週目 証券市場のしくみ
- 13週目 ポートフォリオ理論
- 14週目 インデックス・ファンドについて
- 15週目 証券化について
- 16週目 定期テスト実施後、テスト返却を行います。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- （予習）毎回の授業で提示される課題に取り組む（90分程度）
- （復習）講義内容を振り返り、自分自身の考えをノートにまとめる。（30分程度）

● 成績評価の方法・基準

課題発表及びレポート作成、受講態度を総合的に勘案して評価する。

● 履修上の留意点

金融・証券分野に対して強い興味を抱く学生の受講を希望する。

● 課題に対するフィードバックの方法

16週目に定期テストの返却および講評を行います。やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

● テキスト

日本経済新聞（朝刊）

● 参考書

水上宏明著 『金貸しの日本史』新潮社 700円＋税

● 更新日付

2024/01/30 06:09